

令和8年度 国土交通大臣賞

募集締切
令和8年
5月29日(金)

<循環のみち下水道賞>

健全な水循環、資源・エネルギー循環を生み出す21世紀の下水道のコンセプト「循環のみち下水道」に基づく優れた取組に対し、国土交通大臣表彰を行っております。

日ごろの取組を広く発信できるこの機会に、ぜひご応募ください。

募集部門

上下水道一体部門

上下水道一体での効率化や
基盤強化等の取組

イノベーション部門

現場における創意工夫や
新技術の活用等の取組

防災・減災部門

災害対策における
ソフト・ハード面の取組

アセットマネジメント部門

施設の長寿命化や計画的な維持修繕、
事業運営、人材育成に貢献する取組

広報・教育部門

効果的な広報活動や
環境・防災教育等の取組

下水道の魅力
を伝える
絶好の
チャンス

下水道 ×
= 循環のみち

イノベーション

防災・減災

広報・教育

上下水道一体

アセットマネジメント

循環のみち下水道賞応募について

○応募団体

以下の団体や事業者の方が対象です。

- ・地方公共団体
- ・民間事業者
- ・学校、教育機関
- ・水環境保全活動等を行っている
各種NPO、ボランティア団体、市民団体 等

○応募資料(提出いただくもの)

- ① 応募調書
- ② 審査様式
- ③ 審査様式補足資料（審査様式の内容を補足する資料）
- ④ その他（パンフレット等応募内容を説明する資料。提出は任意です。）

※ 応募資料については、募集開始以降、以下のURLに掲載します。

https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000728.html

○提出方法

- ・地方公共団体の方：各地方整備局等へご提出ください。
(各地方整備局等でとりまとめた後、国土交通本省に提出されます。)
- ・民間団体等の方：事務局へ直接ご提出ください。

○応募・選定スケジュール(予定)

令和8年4月20日
募集開始

令和8年5月29日
募集締め切り

令和8年6月～8月中
選定委員会開催

令和8年9月10日頃
表彰式



中野大臣(当時)挨拶



令和7年度表彰式

事務局（お問い合わせ先）

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

国土交通省 水管理・国土保全局

上下水道企画課（上下水道審議官グループ）企画調整係長 畠山、井内

代表：03-5253-8111(内線34-138) 直通：03-5253-8427 E-Mail：iuchi-y2ha※mlit.go.jp

※を@に変えて送信してください

国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」について

「循環のみち下水道賞」の目的

循環のみち下水道賞は、下水道の使命を果たし、社会に貢献した好事例を表彰し広く発信することで、受賞者の功績を称えるとともに、他の多くの団体等が同様の取組を行うことで、健全な水循環及び資源・エネルギー循環を創出する「循環のみち下水道」の実現を全国的に図ることを目的とする。

「循環のみち下水道賞」の部門構成について

グランプリ

イノベーション部門

現場における創意工夫や新技術の活用等の取組

下水道が有する膨大なストック、水・資源・エネルギー、経験等を活かし、地球温暖化の防止、循環型社会の構築、世界の水と衛生・環境問題の解決、国際的なビジネス展開による新たな市場の開拓等、新しい価値の創造に貢献する取組。

アセットマネジメント部門

施設の長寿命化や計画的な維持修繕、事業運営、人材育成に貢献する取組

管理体制（人）、施設管理（モノ）、経営管理（カネ）の一体的マネジメントや人材の育成、技術力の維持・継承等により、下水道事業の持続に貢献する取組。

上下水道一体部門

上下水道一体での効率化や基盤強化等の取組

上下水道一体で効率化・基盤強化等を行うことにより下水道の相乗効果が発揮した取組。

防災・減災部門

災害対策におけるソフト・ハード面の取組

大規模災害（地震、津波、異常豪雨等）時においても、国民の健康・生命・財産及び経済活動を保護・保全するため、下水道による強靱な社会の構築に貢献する取組。

広報・教育部門

効果的な広報活動や環境・防災教育等の取組

下水道の役割、重要性、魅力、可能性等に気づき、共感し、行動してもらうための効果的な広報活動や環境・防災教育の取組。

グランプリ

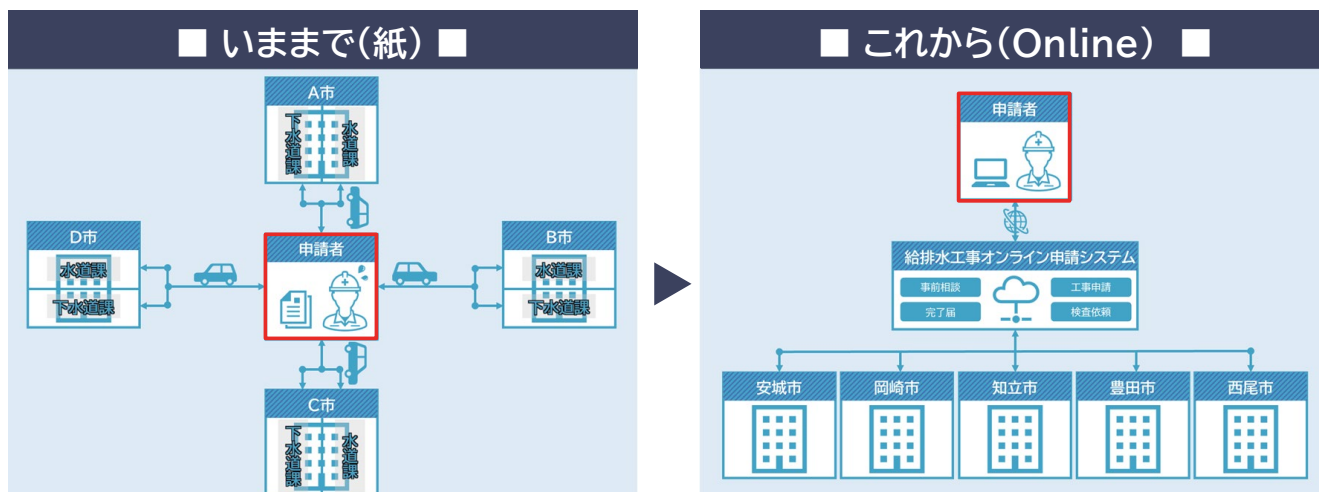
給排水工事オンライン申請システムの共同導入 ～西三河5市によるデジタル広域連携～

豊田市上下水道局・岡崎市上下水道局・安城市上下水道部・西尾市上下水道部・知立市上下水道部

全国初！

上下水道一体 × 広域化・共同化 × DX

申請者の利便性向上と申請事務を最大限に効率化することを目的に
給水と排水の工事申請を統合した電子申請システムを西三河5市で共同導入



<給排水工事に特化した電子申請システムを広域で調達した全国初の取組！>

- 豊田市が提案した「給排水工事オンライン申請システム」の広域導入について、愛知県下44自治体と導入検討を進め、最終的に賛同いただいた4市（岡崎市・安城市・西尾市・知立市）と令和6年3月に協定を締結し、システムの共同開発を行いました。
- 合同プロポーザルによりベンダーを選定し、令和7年4月から西三河5市で運用しています。
- 「行政手続デジタル化3原則」に則り、申請業務の効率化と申請者の利便性向上を実現しています！また、検討段階で、44自治体の課題や要望を分析した上で要件定義をしておき、汎用性が高く、他自治体でも導入しやすい設計が実現しました。
- 広域連携による調達により、価格面等で有利な提案も受けられ、特に中小自治体にとって有効な調達手法となっています！

PRポイント！

- ・事前相談から工事完了までの業務プロセスをワンストップ申請
- ・給水及び排水の工事申請システムを統一したことによる重複投資の回避
- ・共同調達により、イニシャル及びランニングのコスト削減
- ・給排水のシステム統合と広域連携による相乗効果で事務効率が最大限に向上

実施状況

令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度

● 愛知県下全自治体に対し企画提案

● 導入検討

● 仕様書作成

● 開発

● 協定締結

● 運用開始

システム概要

■ 共通トップページ

給排水オンライン申請システム利用者ログイン先選択
 □ ユーザー登録マニュアルはこちらをクリック
 ヘルプデスクへのお問い合わせ
 お電話でのお問い合わせ 050-3688-6875(9:00~17:00)
 メールでのお問い合わせ support@kyu-haisu.jp

岡崎市

豊田市

安城市

西尾市

知立市

■ 函面等への赤入れ



■ 検査日程調整

事業体ユーザー

2025年 今日 < > 月 週 日 リスト

3月							4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1	6	7	8	9	10	11	12
2	3	4	5	6	7	8	13	14	15	16	17	18	19
9	10	11	12	13	14	15	20	21	22	23	24	25	26
16	17	18	19	20	21	22	27	28	29	30			
23	24	25	26	27	28	29							
30	31												

5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21

all-day
 9時
 10時
 11時
 12時
 13時
 14時
 15時
 16時
 17時

◆ 利用者の声(指定工事店)◆



市役所へ行くことなく、会社や自宅にしながら申請業務を行えるため、大変便利です。また、従来の紙による申請に比べて、許可が下りるまでの時間も短く感じます。パソコン上で申請を進められるため、ペーパーレス化にもつながり、とても助かっています！

取組の効果

	申請者	市役所
上下水道 一体	<ul style="list-style-type: none"> 1度のログインで両方の申請が可能 重複する入力項目の入力手間削減 操作習熟までの迅速化 	<ul style="list-style-type: none"> システムへの重複投資の回避 研修やサポート体制の集約 保守や問合せに対する事務量削減
広域化 ・ 共同化	<ul style="list-style-type: none"> 共通アカウントで5市に申請可能 ポータルサイト化による効率的アクセス 操作方法習得へのハードル低下 	<ul style="list-style-type: none"> コストの低廉化(初期35%、経常61%) 相乗効果による事務効率の向上 相互支援及び協力関係の強化
DX	<ul style="list-style-type: none"> 来庁不要による費用削減(3千円/件)及びCO₂削減(最大90t/年) 24時間365日、申請可能 	<ul style="list-style-type: none"> 窓口対応の減少 効率的かつ効果的な情報管理 入力の規則化による事務効率化

Key Person



豊田市上下水道局
 担当長 下村 義人

本プロジェクトは、県内44自治体が参加してスタートしましたが、検討を進める過程でシステムに対する各自治体の思惑が異なるなど、広域連携の難しさを痛感しました。最終的には、賛同を得た西三河5市で取組を進めることとなりましたが、自治体間で異なる業務プロセスやセキュリティポリシーの調整に苦慮しました。しかし、共同導入が実現したことで、5市による相互支援や協力体制が強化できたと実感しています。事務局としては、至らぬ点が多々ありましたが、参加自治体を始めとする関係者の皆様方のご支援ご協力に対して心より御礼申し上げます。